

## 編集方針

本報告書は、野村不動産グループのCSRに対する考え方や取り組みについて、ステークホルダーの皆さまに、誠実に分かりやすく報告することを目的として発行しています。

作成にあたっては、GRI (Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第3.1版」とISO26000「社会的責任に関する手引き」を参考にしています。

また、より多くの皆さまにCSR活動の取り組みを理解していただくために、Webサイトにおいても情報を公開しています。



<http://www.nomura-re-hd.co.jp/csr/>

### 報告対象期間

2010年度(2010年4月1日～2011年3月31日)

※ 一部内容に2010年度以前、または以降の活動と見直しについても掲載しています。

### 報告対象範囲

野村不動産ホールディングスおよび野村不動産グループ各社(13社)

※ 組織名称は2011年10月1日現在のものです。

### 発行時期

2012年1月

### 次回発行予定

2012年11月

### 報告書内の記述について

- 本報告書において、「野村不動産ホールディングス」は野村不動産ホールディングス株式会社を、「野村不動産グループ」は野村不動産ホールディングス株式会社および野村不動産グループ各社(13社)を示しています。
- 本文に掲載している人名や会社名などは、原則として敬称を略しています。
- 本報告書に掲載した内容は、過去と現在の事実だけでなく、発行時点における計画や将来の見直しを含んでいます。これらは記述した時点で把握している情報に基づく仮定や判断を含むものであり、将来の活動内容や結果が掲載内容と異なる可能性があることをご了承ください。

## 目次

社長メッセージ	2
私たちのCSRの考え方	4
野村不動産グループのDNA	6
<b>特集</b>	
1. 住まいの「安心・安全・高品質」を追求する 「プライド」の「住み心地満足度調査」と 「製・販・管」一貫体制による品質向上への取り組み	10
2. コミュニティ形成を建築・デザインの側面から支援する 日本女子大学大学院との産学協同プロジェクト 「マンションコミュニティのためのデザイン手法100」	14
3. 日本再生の原動力、中小規模企業のビジネスを応援する PMO (Premium Midsize Office) 事業における テナント交流促進への取り組み	18
<b>ステークホルダーとのかかわり</b>	
お客さまとともに	20
取引先とともに	24
株主・投資家とともに	25
地域・社会とともに	26
社員とともに	28
<b>環境への取り組み</b>	30
<b>CSR推進基盤</b>	
コーポレート・ガバナンス	34
リスクマネジメント	35
コンプライアンス	36
第三者意見／第三者意見を受けて	37
野村不動産グループの概要	38